

I . 概要

小児期からの生活習慣病予防に関する研究事業

目的

茨城県において平成元年度に出生した児について、これまでに4回(3歳時, 6歳時, 12歳時, 22歳時)にわたり健康に関するアンケート調査を行ってきた。今般, 20歳代後半を対象とした5回目の追跡調査を行うことにより, 小児期から成人期までの生活習慣及び生活習慣病の危険因子との関連を横断的・縦断的に検討し, 小児期からの生活習慣病予防に資する基礎資料を得ることを目的とした。

実施主体

茨城県, 茨城県立健康プラザ

研究期間

平成28年度～平成30年度

調査方法等

1) 対象者

平成4年10月から平成5年2月の間に, 県内で三歳児健康診査を受診した際に, 保護者が健康アンケートに回答した4,592人のうち, 平成23年に22歳時の健康アンケートを送付した3,517人を対象とした。そのうち, 送付先が不明な者など者を除いた3,493人を送付対象とした。

2) 調査時期

平成28年3月:アンケート発送(1回目)

平成29年8月:期日までに回答が得られなかった対象者(再通知)及び1回目に宛名不明で郵便物が戻ってきた対象者へアンケート紙面を発送

※宛名不明で郵便物が戻ってきた対象者へのアンケート紙面の発送については, 12歳時の住所または対象者の家族に問い合わせた住所へ郵送した。

3) 調査方法

郵送配布, 郵送回収またはWeb回答

調査内容

1) アンケートの内容

身長, 体重, 血圧, 運動, 食事, 睡眠, 喫煙, 飲酒, その他日常の状況など生活習慣や健康に関する 53 項目で構成された自記式のアンケート(V. 参考資料参照)。

2) 健診データの収集

健康診断を受診した者については, 健康診断の結果について自記式にてアンケートへの転記を依頼した(V. 参考資料参照)。

研究倫理

本研究は, 茨城県疫学研究合同倫理審査委員会及び大阪大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を得て実施した。

その他

本研究の成果を公表する際には, 英文の通称として「Ibaraki Children's Cohort Study: IBACHIL」, 和文の通称として「茨チル研究」を用いることとしている。

20 歳代後半を対象とした 5 回目の追跡調査については, JSPS 科研費 16J10536 の助成を受け実施した。

Ⅱ. 回答者の属性

有効回答数の男女内訳

表 1 に調査票の発送数と回収率, 表 2 に有効回答数の男女内訳を示した。平成 29 年 3 月に, 身長, 体重, 血圧, 運動, 食事, 睡眠, 喫煙, 飲酒, その他日常の状況など生活習慣や健康に関する 53 項目で構成された自記式のアンケート調査票を対象者 3,493 人に郵送し, 900 人(男性 394 人, 女性 506 人)から回答を得た(回答率:25.8%)。

表 1. 調査票発送・回収率等

アンケート送付数	3,493
有効回答数	900
宛名不明で戻ってきた数※	682

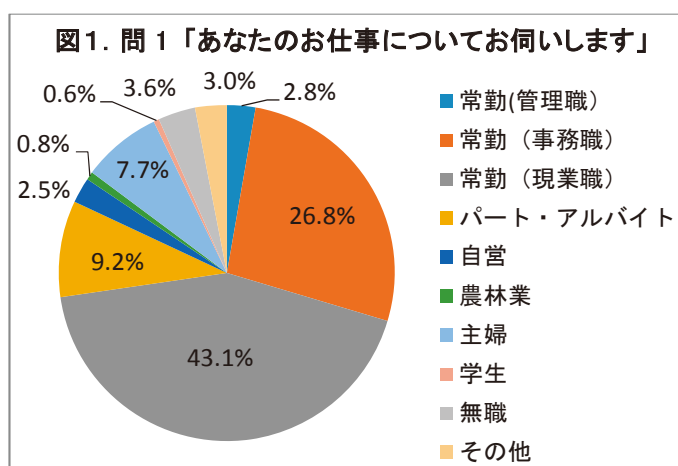
表 2. 有効回答数の男女内訳(人数)

男性、人数(%)	394(43.8)
女性、人数(%)	506(56.3)

※平成 28 年 3 月に発送したアンケート(1 回目)に対する宛名不明で郵便物が戻ってきた数を示した。このうち、256 人については、12 歳時の住所または対象者の家族に問い合わせた把握した住所へ改めて発送した。

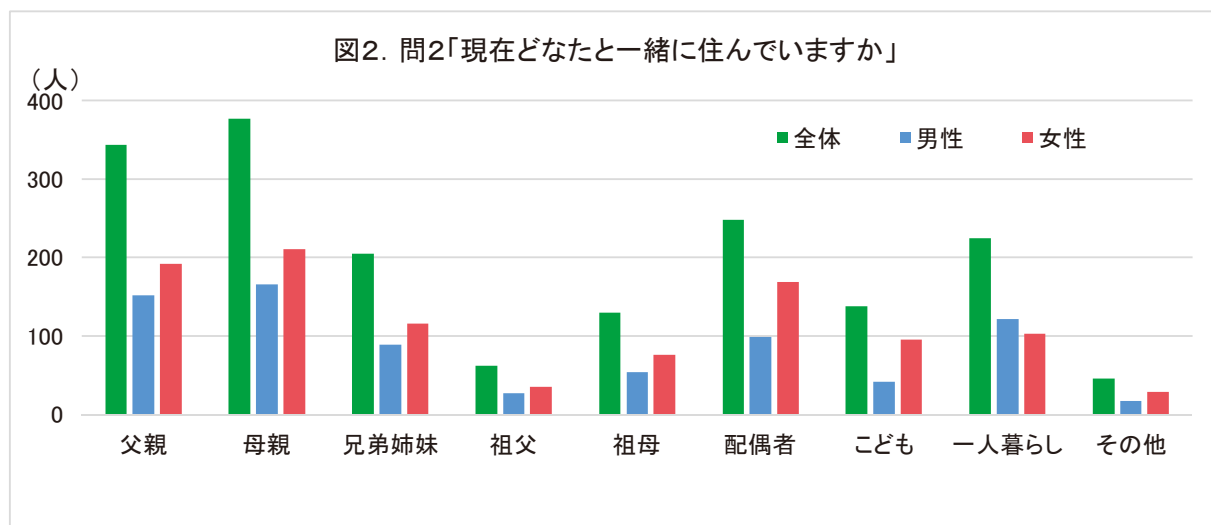
職業

現在の職業が、「常勤」の者は全体で 654 人(72.7%)であった(図1)。



居住形態

家族等と同居している者が 675 人(75.0%), 一人暮らしは 225 人(25.0%)であった(図2)。



市町村別のアンケート送付・回答者

市町村別のアンケート送付者及び回答者の人数は、下記のとおりである。

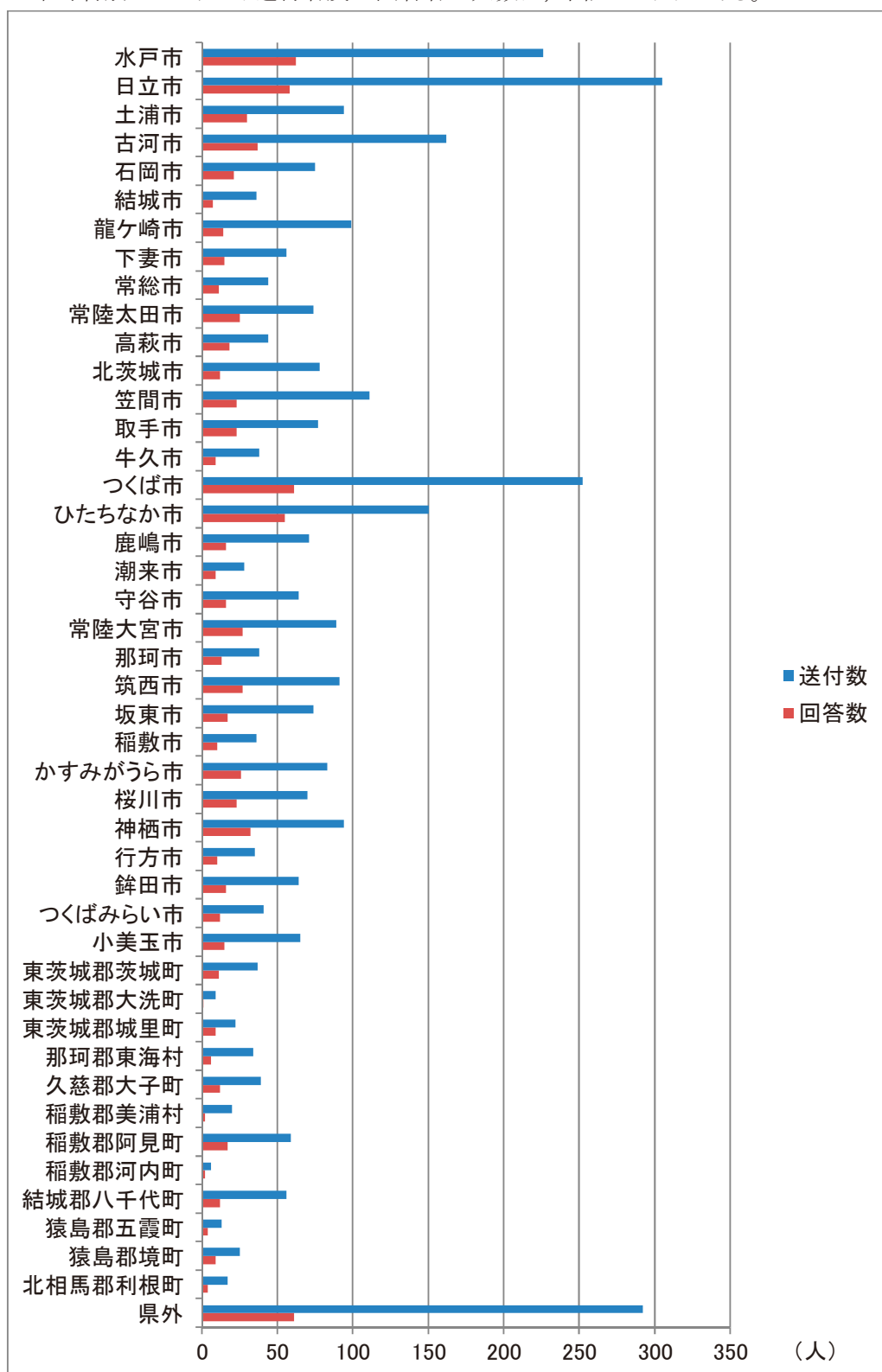


図3. アンケート送付・回答者の市町村別内訳